

公害教育の発信 公害資料館を足場として

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

学会などで「公害」を発表 **13回**

関連イベントに
若者が参加 **200人**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**



第6回公害資料館連携フォーラムin東京

課 題

公害から学ぶことの価値を現在に合わせた形で創造する。そのために、公害からの学びをESD的に組み立て直す。

目 標

- 公害がさまざまな教育ジャンル(環境教育・人権教育・開発教育など)で取り扱われるようになる
- 公害を知らない世代が、公害教育を行えるようになる

活動内容と成果

公害資料館連携フォーラム in 東京を開催し、SDGsをテーマに掲げて、公害とSDGsの関係を探った。その中で公害反対運動が、権利ベースのアプローチとしての先例であるという位置づけがあり、これまでの公害反対運動の新しい価値づけを行うことができた。公害を学ぶ価値を賦与することができた。

また、昨年度に作成した公害資料館ネットワーク共通展示パネルの巡回展の開催と、その展示パネル用の手元資料の作成を行った。公害教育の研究会の開催や、原因企業の対話を進めるためのケーススタディの形成などを行った。



展示キャプションづくりワークショップ



東京大気汚染のフィールドワーク

全助成期間の活動を振り返って

この3年間で団体として成熟し、「公害資料館ネットワーク」として一つの大きな物語(共通展示パネル「今なぜ公害から私達は学ぶのでしょうか?」)を作成することができた。

公害資料館ネットワークはそもそもが立場が違う団体の集合体であるが、多様性を認めながら一つの見解を示せたことは、3回のフォーラム(水俣・大阪・東京)と研究会を重ねたことが実ったといえよう。原因企業との対話も進めることができた。

| 活動地域 | 東京都、大阪府 他

〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千舟1-1-1

あおぞらビル4階 あおぞら財団内

電話 : 06-6475-8885

E-mail : kougaisiryoukan@gmail.com

http://kougai.info/



今後の
展望

これからは、公害があっても公害を語ることができない地域で、公害を学ぶことの希望について広げていくことが、「公害を学ぶ、公害から学ぶ」ことの障害を取り除くことにつながっていく。今後は、水島・長崎・福島で活動を行い、公害教育の重要性を広げていきたい。